

入院診療計画書

患者氏名

様

病名(大腸ポリープ)

治療(内視鏡的大腸ポリープ切除術)

経過	入院当日 (検査前)	(検査後)	検査後1日目	検査後2日目	退院後の治療計画
日時	(/)		(/)	(/)	
達成目標	検査の理解ができる 不安なく検査を受けることができる	腹痛や血便がみられない	腹痛や血便がみられない 食後の嘔気・嘔吐がみられない	合併症を起こさず退院できる 退院後の生活に不安がない	
治療 処置 薬剤	下剤2Lを2時間かけて飲んでください 飲み終わった後は水・お茶を飲んで、 腸の動きが良くなるように病棟内を 歩行しましょう 治療の前に検査着に着替え、点滴を行います	点滴は翌朝まで続けます 	主治医の診察があります 点滴は終了後抜きます 医師の指示のもと薬は再開となります		退院後、指定された日に受診をして下さい。 次回受診日: 月 日
検査			採血とお腹のレントゲンがあります 		
活動 安静度	歩行または車椅子で内視鏡室へ行きます	3時間はベッド上安静です	制限はありません	制限はありません	
食事	食事は食べれません 	食事はたべれません。 水分は医師確認後になります。	医師の指示のもと昼から食事が開始となります	軟らかい食事がきます	退院後、次のような症状がありましたら、すぐに受診をしてください。 ①お腹が痛い・お腹が張る ②便に血が混じっている
清潔	検査前は入浴可能です		入浴できます	入浴できます	
排泄		安静中は尿器でります 3時間後よりトイレ歩行可能です	トイレ歩行可能です	トイレ歩行可能です	
教育 指導 説明	検査の説明を致します 同意書に署名をして看護師に渡して下さい 下剤服用後排便がみられたら 看護師に知らせて下さい 便の性状、内視鏡室の検査進行状況により治療時間は前後します	お腹の痛みや吐き気・血便などが あつたら、すぐに看護師に知らせて下さい 検査後の安静度や時間について説明します	→ 排便がみられたら看護師に知らせて下さい(血が混じっていないか観察を行います)	退院後の生活について説明します 次回受診日を説明します 	・食事は、治療後1週間程度は軟らかいものを食べるようにして、刺激物は避けましょう。 ・急激な労働・運動は避け、徐々に回復をしていく下さい。 ・排便時の過度な怒責は避けて下さい。
服薬指導	持参されたお薬の作用、副作用について薬剤師が説明を行います	新しく薬が出た場合は、内服方法や作用・副作用について説明します			
栄養管理	あり	なし			
観察	腹部症状・不安の有無の確認をします	お腹の痛みや便に血が混じっていないか観察を行います	→	退院後の生活に不安がないか確認をしていきます	
在宅復帰支援 計画	() 病状の安定を図り、安心して生活する為の支援を行います。 () 日常生活動作が維持できるような環境設定の提案や介助方法等を家族・療養にかかるスタッフへ指導します。 ()				

主治医 :

印

令和 年 月 日

本人または家族の承諾サイン:

師長:

担当看護師:

【在宅復帰支援担当者】津田 香月 【担当MSW】4階北(香月) 5階北(緒方) 3階南(栗津) 4階南(増永) 5階南(中村)

【担当管理栄養士】4階北(吉村) 5階北(松本) 3階南(吉村) 4階南(高宮) 5階南(高宮)

熊本セントラル病院

*注:入院期間は現時点で予測されるものです。病名などは現時点で考えられるもので、今後検査などを進めていくに従って変わりうるもので。

書式番号:1000-2020